

# 令和5年度中山町商工会経営発達支援計画事業報告書

## I. 経営発達支援事業の内容

### 3. 地域の経済動向調査に関すること

(目標・実績)

内容	公表方法	R4年度 目標	R4年度 実績	R5年度 目標	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標
①地域の経済動向分析の公表回数	HP 掲載	1回	0回	1回	1回	1回	1回	1回
②中山町商工会管内景況調査公表回数	HP 掲載	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回

#### ①地域の経済動向分析（国が提供するビッグデータの活用）

RESAS やインターネット、業界情報誌より市場の動向等について分析し、事業計画策定支援に活用した。業種別、事業所別に分析を行ったため HP に公表はしていない。

#### ②中山町商工会管内景況調査

商工会会員事業所に対し記名式のアンケート調査を実施した。会員事業所 227 社に調査票を発送し令和5年10月4日から12月28日の間、アンケートの回収を行った。有効回収件数については152件。アンケート内容については主に次の4つ、合わせて商工会に対する意見や要望を記入頂いた。

1. 経営方針について
2. 後継者候補について
3. 経営上の悩みについて
4. 商工会に希望する支援について

今回の調査結果については、設備投資に係る補助金案件、事業承継等、今後の商工会支援における基礎資料となり、個別相談案件の掘り起こしや商工会事業の推進に繋がった。また、商工会 HP に公表し会員事業所への情報公開を行い、今後の経営に関する意識を啓蒙した。

### 4. 需要動向調査に関すること

(目標・実績)

内容	R4年度 目標	R4年度 実績	R5年度 目標	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標
①バイヤーのニーズ調査対象事業者数	2者	0者	2者	0者	2者	2者	2者
②テストマーケティング事業調査対象事業者数	2者	0者	2者	0者	2者	2者	2者

①バイヤーのニーズ調査の実施（年1回）

県連合会によるテストマーケティング事業がモール型 EC サイト活用販路開拓支援事業に変更となったためバイヤーのニーズ調査なし。

②テストマーケティング事業の実施（年1回）

県アンテナショップ出展事業所なし。

5. 経営状況の分析に関すること

（目標・実績）

内容	R4年度 目標	R4年度 実績	R5年度 目標	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標
①セミナー開催回数	1回	1回	1回	0回	1回	1回	1回
②経営分析事業者数	10者	20者	10者	17者	10者	10者	10者

①経営分析セミナーの開催

日常業務の巡回・窓口相談を通じて個別に分析を行ったため、集団でのセミナーは開催していない。

②経営分析の内容

定量、定性分析を行い事業計画の策定につなげた。

6. 事業計画策定支援に関すること

（目標・実績）

内容	R4年度 目標	R4年度 実績	R5年度 目標	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	R8年度 目標
①DX推進セミナー	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
②事業計画策定セミナー	1回	3回	1回	9回	1回	1回	1回
事業計画策定事業者数	5者	20者	5者	17者	5者	5者	5者

①DX推進セミナーの開催

日常業務の巡回・窓口相談を通じて個別に分析を行ったため、集団でのセミナーは開催していない。

②事業計画策定セミナーの開催

国、県各種補助金、支援金獲得に向けた事業計画策定セミナー、経営革新につながる事業計画策定セミナーを開催した。

事業計画策定事業者数

販路開拓に取り組む補助金申請や生産性向上のための設備導入に取り組む補助金申請に向けた事業計画策定の支援を行った。また、町の助成金の活用を契機とした創業計画の策定支援を行った。

## 7. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(目標・実績)

内容	R4 年度 目標	R4 年度 実績	R5 年度 目標	R5 年度 実績	R6 年度 目標	R7 年度 目標	R8 年度 目標
フォローアップ 対象事業者数	5 者	18 者	5 者	17 者	5 者	5 者	5 者
頻度 (延回数)	60 回	84 回	60 回	103 回	60 回	60 回	60 回
売上増加 事業者数	3 者	11 者	3 者	7 者	3 者	3 者	3 者
利益率増加 事業者数	3 者	10 者	3 者	3 者	3 者	3 者	3 者

事業計画策定事業者に対し実行支援及び進捗確認のため定期的にフォローアップを行った。状況に応じたフォローアップにより事業者によっては頻度に差がでた。補助金獲得の為の事業計画策定を契機として法認定支援へとつながった。事業計画策定事業者 17 社の内売上増加につながった事業者は 7 者、利益率の増加につながった事業者は 3 者となった。この要因については、販路開拓に向けた補助金や生産性の向上に向けた補助金に取り組み、成果がでた結果によるものと考えられる。

## 8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(目標)

内容	R4 年度 目標	R4 年度 実績	R5 年度 目標	R5 年度 実績	R6 年度 目標	R7 年度 目標	R8 年度 目標
①WOOD コレクション 出展事業者数	2 者	1 者	2 者	1 者	2 者	2 者	2 者
成約件数/者	2 件	0 件	2 件	3 件	2 件	2 件	2 件
②おいしい山形・食 材王国みやぎビジネ ス商談会参加事業者 数	2 者	0 者	2 者	0 者	2 者	2 者	2 者
成約件数/者	2 件	0 件	2 件	0 件	2 件	2 件	2 件
③ネットショップの 開設者数	3 者	1 者	3 者	0 者	3 者	3 者	3 者
売上増加率/者	10%	17%	10%	-	10%	10%	10%

①WOOD コレクション出展事業 (B to B)

令和6年1月11日～12日開催

②おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会参加事業者数（B to B）

出展希望者なし

③自社HPによるネットショップ開設（B to C）

支援事業者なし

## II. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

### 9. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

①本会三役会による進捗確認（12回）

②事業評価検討委員会（1回）

③事業の成果・評価・見直しの結果については本会ホームページにて計画期間中公表した。

### 10. 経営指導員等の資質向上等に関すること

①中小企業大・大学等研修会への参加

②DX推進に向けたセミナー

③OJT制度の導入

④職員間の定期ミーティングの開催

⑤経営支援システムの活用

(委員からの評価・コメント)

委員からの評価・コメント	回答
<p>経営状況の分析に関する事、並びに、事業計画策定支援に関する事については、セミナーを実施することとなっています。しかしながら、実施内容を確認すると、個別に対応したために集合形式のセミナーを実施しなかったとなっております。このやり方のままでは、今後もセミナーを実施することはなくなり、計画の達成は困難になるのではないかと感じております。</p> <p>個別対応をするからこそ、各事業所さんのニーズを把握できるわけでありますから、その把握したニーズに則ってセミナー内容を検討し、実施するといった取り組みを行っていただければと思います。</p>	<p>物価高騰や人件費高騰、また国際情勢の激変など、事業者にとっての課題は多岐にわたるものと思われま。ご指摘の通り、適切なテーマの選定と、セミナー開催について検討していきたいと考えております。</p>
<p>1. 「3-①」において、公表する目標があるのであれば報告書には「業種別、事業所別に分析を行ったためHPに公表はしていない」旨の記載があるが、掲載すべきではないか。 (また、実績表中1回となっているが誤表記?)</p> <p>2. 「6-①」において、本文中、「個別に分析を行った」旨の記載があるが、DX推進支援についての説明文でないのでは。(実績の表中1回となっているが誤表記?)</p> <p>3. 「7」において、売り上げ増加事業者が7社となっており、目標の3社は超えているうえ、フォローアップ対象事業者数も目標を大幅に超える実績であるため、計画作手後の実施支援については事業者にとって事業者にとって有益なものとなっていると評価できる。</p>	<p>1. 事業所別に行った聞き取りがもとになっているので、公表するフォーマットにはなっていないかった。掲載すべきかは内容に応じて今後検討します。(実績1回については、通年の取組という意味で記載しています。)</p> <p>2. DXについて、個別相談指導の際に説明、聞き取りを行っているため、こうした表現になっております。(実績については、広域で1回開催を記載しています。)</p> <p>3. 今後も事業計画策定に関して、同様に取組んでまいります。</p>

事業評価委員

No.	所属	氏名	備考
1	渋谷税務会計事務所	渋谷和	外部有識者
2	中山町役場	阿部弘	行政関係者

